

長岡京市文化財保存活用地域計画

令和4年10月

2022年 長岡京市市制施行50周年

長岡京市は、6世紀前半の「弟国宮」と8世紀後半の「長岡京」との2度にわたって都が置かれ、古くから交通の要衝として、人々の暮らしが営まれた地です。

遺跡や歴史資料などの文化財は、こうした長い歴史のなかで生み出され、守り伝えられたもので、その証であるとともに、市民共有の財産です。これらを未来に引き継ぎ、発展させていくことは、今を生きる私たちの責務です。そのための道しるべとなるのが、この「長岡京市文化財保存活用地域計画」です。

本地域計画では、本市域に所在する文化財を明らかにし、そこから導き出した本市の歴史文化の特徴を7つ、描いています。ここで「見える化」した本市の魅力、歴史文化の“ものがたり”に学校教育や社会教育のなかで触れ、みなさんに親しんでもらうことが、ふるさと「長岡京市」への誇りと愛着を深め、ひいてはかけがえのない文化財の保存に繋がるのではないかでしょうか。

本地域計画を手引きとして、次代の担い手となる子どもたちに、そして50年先の世代にも愛され続ける、歴史文化の魅力溢れる長岡京市となるよう、取り組んでいきます。

長岡京市教育委員会

教育長

西村 文則



次の50年へ
**歴史文化の魅力を大切に
みんなで守り伝えるために**

昭和47年(1972)10月1日、京都府内10番目の市、「長岡京市」が誕生して今年で50年になります。その誕生と50年の歩みは、多くの人々の夢や希望、想いが込められ、困難や苦労を乗り越えてきた足跡そのものです。現在、本市の魅力となっている便利でスマートな暮らしもたらす上質な暮らし、四季を彩る自然や豊かな歴史が醸し出すどこか懐かしい雰囲気も、先人が守り、受け継ぎ、時代に合わせて進化させてきた“バトン”です。

この“バトン”を、これから50年にも引き継いでいくためには何をすればよいのか。その一つが、市民のみなさんにご協力いただき、いつしょになって考えた、この「長岡京市文化財保存活用地域計画」です。本市域で守り伝えられてきた数多くの文化財と、そこから紡がれる歴史文化は、“うるおい資源”としてはもちろん、本市が目指す将来像「良質な住み心地」「多彩なにぎわい」「ゆるぎない安心」においても、さまざまなポテンシャルを秘めたものです。

本地域計画が描くビジョン、またここに掲げた事業を、市民のみなさんと広く共有し、着実に実現することで、“歴史文化を活かしたまちづくり”を進めています。

長岡京市

市長

中小路 健吾



1972年 「長岡京市」誕生

「長岡」の名を残したい。
かつての王城の名「長岡京」を市名に。
歴史と自然を活かし、みんなが力を
合わせて生きがいのあるまちへ。



長岡京市役所開庁式(昭和47年)



2022年 市制施行50周年 歩みを振り返り、次世代へ

「文化財保存活用地域計画」作成



京都府立大学歴史学科のみなさんが
歴史文化の魅力を探る！



長岡京市ふるさとガイドの会や
観光関係者のみなさんと
「長岡京らしさ」を意見交換！



「文化財保存活用推進会議」
(文化財所有者・専門家・観光関係者・公募市民)で話し合い！

いろんな視点で、みんなでともに考え、紡いできました

長岡京市の歴史文化
「7つのものがたり」

要衝の地 1	大王の息吹 2	長岡京王城 3	遊観の地 4
戦乱の舞台 5	京都近郊の農村 6	竹とタケノコ 7	



目 次

第1章 長岡京市文化財保存活用地域計画の作成にあたって	1
1. 計画作成の背景と目的	1
2. 地域計画の位置付け	2
3. 計画期間	4
4. 計画作成の体制と経緯	4
5. 地域計画が対象とする文化財と歴史文化の定義	6
第2章 長岡京市の概要	7
1. 社会的状況	7
(1) 位置・面積と交通	7
(2) 市域の変遷	8
(3) 人口・世帯数の推移	8
(4) 産業	9
(5) 観光	10
(6) 土地利用	12
(7) 法的規制等	12
(8) 歴史文化の展示等に関わる施設	14
2. 自然的・地理的環境	15
(1) 地形・地質	15
(2) 気候	16
(3) 生態系	16
(4) 景観	18
3. 歴史的背景	19
(1) 先史	19
(2) 古代	20
(3) 中世	21
(4) 近世	21
(5) 近代(明治・大正・昭和初期)	22
(6) 現代(昭和戦後・平成・令和)	23
(7) くらしの歳事と食文化	24
第3章 長岡京市の文化財の概要と特徴	29
1. 文化財の調査	29
(1) 既存の文化財調査	29
(2) 地域計画作成にかかる把握調査	30
2. 指定等文化財	31
(1) 指定等文化財の状況	31
(2) 指定等文化財の概要	40
3. 未指定文化財	42
(1) 未指定文化財の状況	42
(2) 未指定文化財の概要	44
4. 類型別にみた文化財の概要と特徴	45
(1) 有形文化財(建造物)	45
(2) 有形文化財(美術工芸品)	49
(3) 無形文化財	54
(4) 民俗文化財	55
(5) 記念物	56
(6) 文化的景観	59
(7) その他	60
第4章 長岡京市の歴史文化の特徴	61
1. 歴史文化の抽出と整理	61
2. 7つの歴史文化	62
(1) きわめて高い利便性！人とモノ、文化をつなぐ要衝の地	62
(2) 巨大な古墳が出現！大王の息吹を体感	64
(3) ここがみやこ！「長岡京」王城の地	66
(4) 幽閑とにぎわい！信仰と遊覧の地	68
(5) 自治と戦乱の舞台！西岡衆と細川藤孝	70

(6)京都の繁栄を支えた！京都近郊農村のくらし.....	72
(7)ピカイチ特産物！竹とタケノコ	74
第5章 長岡京市の文化財の保存と活用に関する課題と方針	77
1.これまでの文化財行政の経過	77
2.文化財の保存と活用に関する現状と課題	79
(1)調査・研究における課題	79
(2)情報発信における課題	79
(3)保存・管理・継承における課題.....	79
(4)防災・防犯における課題.....	80
(5)活用における課題.....	80
(6)組織・体制における課題.....	81
3.文化財の保存と活用に関する基本的な考え方と方針	81
(1)基本的な考え方	81
(2)キャッチフレーズ.....	82
(3)7つのものがたり	82
(4)8つのビジョン.....	83
(5)4 つの基本方針.....	83
第6章 長岡京市の文化財の保存と活用に関する措置	85
1.基本方針1「調査・研究の充実と文化財の価値の共有」に関する措置	86
(1)調査・研究の充実に関する措置.....	86
(2)文化財の価値の共有に関する措置	87
2.基本方針2「着実な保存・管理と継承」に関する措置	88
3.基本方針3「まちづくりへの活用」に関する措置	89
4.基本方針4「みんなで支えるしくみづくり」に関する措置	90
(1)人材育成に関する措置	90
(2)協働による歴史文化のまちづくり推進に関する措置	91
5.リーディングプロジェクト	92
第7章 長岡京市文化財保存活用地域計画の進捗管理と推進体制	93
1.計画の進捗管理と自己評価の方法	93
2.計画推進の体制	93
(1)文化財主管部局	93
(2)長岡京市及び関係機関・団体等	94
(3)京都府等	95
(4)推進体制の整備と連携	95
3.文化財の保存と活用に関する防災・防犯の体制.....	97
(1)文化財の防災・防犯の推進.....	97
(2)長岡京市地域防災計画の体制	97
(3)防災・防犯体制の連携と強化	98